

☆関係副詞についての補足

授業中では複合関係副詞 (**whenever** とか **wherever** とか) の訳し方は「どんなに～ても」しか紹介しませんでした。もう 1 つ重要な訳し方がありました。以下に示します。

whenever S + V・・・～する時はいつも

wherever S + V・・・～する所ではどこでも

これらは厳密に言えば**接続詞**です。使い方は普通の接続詞と一緒に。 (後ろには基本的に主語、動詞が必要) 関係詞にはそこまで深く関係はありませんが、入試には頻出です。以下に例文を示すので、なんとなくニュアンスをつかんでください。ここで、**whenever** には「いつ～しても」と「～するときはいつでも」の 2 つの訳し方があることとなりますが、どちらの訳を使うかの法則は特にありません。 文脈で判断になるので、感覚を養っておく必要があります。もう 1 つ重要なことがあって、**~ever** は **no matter** 疑問詞～で書き換えが可能といましたが、**whenever** で言えば、書き換えが可能なのは「いつ～しても」と訳する場合のみです。「～するときはいつでも」と訳する **whenever** を **no matter** ～で書き換えることはできません。 **wherever** についても同様です
なお、この資料の問題にも、接続詞としての **whenever, wherever** を使っています。

例文、

Sit wherever you like.

訳) 好きなところに座りなさい。

Whenever Nancy comes, she brings us present.

訳) ナンシーは、来るときはいつもプレゼントを持ってきてくれる。

Come to see us whenever you come to America.

訳) アメリカに来るときは、いつでも遊びにおいで。

練習問題 関係詞 3 and 関係詞全体

1 次の文を和訳せよ

- (1) This is the reason why she lost her temper.
- (2) Come whenever it is convenient for you.
- (3) Whoever attends this conference should turn their own cell phone off.
- (4) However fast you drive, we won't arrive in time.
- (5) I went to Switzerland, where I stayed for seven days.
- (6) You must pay tax, whoever you are.
- (7) Someday, the day will come when we can take a trip to the moon.
- (8) No one is too old but he may learn.
- (9) He seems to be dislike the way Tom talks.
- (10) We appreciate your donating what little money you earned.

答え

1 (1) これが、彼女が怒った理由です。

lose one's temper → 怒る、かんしゃくを起こす=get angry

(2) いつでもあなたの都合のいいときに来なさい。

☆1 ページ目と書く内容は重複しますが、関係副詞の訳について、授業で扱い忘れていたところがありました。詳しくは「関係副詞についての補足」をご覧ください。

convenient は人を主語に取らない。Impossible も。whenever you are convenient はダメ。

(3) 誰であれ、この会議に出席する人は携帯電話の電源を切るべきです。

(4) どれだけあなたが車を飛ばしても、時間内にそこに着かないでしょう。

(5) 私はスイスに行き、そしてそこに7日間滞在しました。

, where コンマ+関係副詞の形です。関係副詞の継続用法です。授業では扱ってませんが、関係代名詞の継続用法と同様、and や because, though のような接続詞の訳を入れる必要があります。大体、「～～、そして・・・」と訳をすれば上手くいきます。「そして」を入れても上手い文にならない場合は though や because を入れて考えてみましょう。

(6) あなたが誰であろうとも、税金を払わなければならない。

(7) いつか、月に旅行ができる日が来るだろう。

関係副詞 when の先行詞は the day です。

the day when we can take a trip to the moon will come.

としてしまうと、主語が長くなってしまうので、関係副詞節を最後に持ってきたパターンです。どうやら、英語では長い主語は嫌われているみたいです。(it is ~ (for) to …なんかもそうですよね) take a trip ; (観光) 旅行する make a trip ; (仕事で) 旅行する

(8) [諺]六十の手習い。 (直訳：学べないほど歳を取っている人はいない。)

僕の経験上、出題頻度はそこまで高くないと思います。英語の諺はできるだけ出会ったやつだけでも覚えとくようにしましょう。

(9) 彼はトムの話し方が嫌いなようだ。

(10) あなたが稼いだ、なけなしのお金の全てを寄付してくれたことを、私たちは感謝します。

ここで使われている what は“関係形容詞”と呼ばれます。訳は

what [little]~ [わずかながら]~するところの[全て]

このようになります。入試で出るとしたら、そのほとんどが little が同時に用いられているパターンかと思われます。超大事です。